

## 展示室1 イギリスの豊かな自然

トマス・ガーティン  
「エクセター大聖堂」

イギリスの首都、ロンドンには世界で最も活気に満ちた都市のひとつです。そのような大都市ロンドンから少し離れると、しだいに穏やかで美しい田園や湖が目飛び込んできます。イギリス人の自然を愛する心が、豊かで美しい景観を現在に残しているともいえるでしょう。ピーターラビットの作者ビアトリクス・ポターも、緑豊かな湖水地方で、その美しい自然を守ることに力を尽くしたひとりです。

当館ではイギリス近代美術を収集の柱のひとつにしています。今回はそのなかでも、イギリスの豊かな自然を描いた作品を中心に展示します。ヨーロッパを広く旅したターナーに対し、生涯国内にとどまり、特に故郷イースト・バーゴルトの風景を描き続けたコンスタブルの作品《テダムの谷》では、スタウア川流域を丘の上から眺めた風景が広がっています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のいる丘陵地帯の森の風景	1745-46	油彩・キャンバス	
トマス・ゲインズボロ	牧夫と牛のいる森の風	1758 頃	鉛筆・紙	
ポール・サンドビー	ウォーリック城シーザー塔	1778-82	水彩、ペン、インク・紙	
ジョン・セル・コットマン	タンカーヴィルの城	1821	エッチング・紙	
ジョン・クローム	ヘレストンの眺め	1807 頃	油彩・キャンバス	
ジョン・クローム	新しい水車場の裏手、ノリッジ	1812	エッチング・紙	
ジョン・クローム	新しい水車場の正面、ノリッジ	1813	エッチング・紙	
ジョン・コンスタブル	テダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	
ジョン・コンスタブル	真昼	1830	メゾチント・紙	
ジョン・コンスタブル	ヤーマス、ノーフォーク	1832	メゾチント、手彩色・紙	
ジョン・コンスタブル	ストーンヘンジ	1843-4 頃	メゾチント・紙	
ジョン・コンスタブル	穀物畑の農家	1844 頃	メゾチント・紙	
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834-7	メゾチント・紙	
ジョン・コンスタブル	「イングランドの風景」より ・オールド・セーラム ・サマーランド	1830-32	メゾチント・紙／ポートフォリオ	
トマス・ガーティン	エクセター大聖堂	1798 頃	水彩・紙	
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797 頃	水彩、鉛筆・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティンターンジェル城、コーンウォール	1818	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ブルーアム城	1825	メゾチント・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カレー沖の釣船（ドーバー海峡）	1830	メゾチント・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ランプリス湖、北ウェールズ	1834	エッチング、ライン・エングレーヴィング・紙	
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ティーズ川の流れ、ヨークシャー		ラインエングレーヴィング・紙	
ピーター・デ・ウイント	ウィットビー		水彩・紙	
サー・アルフレッド・イースト	スウェル川のほとり		油彩・キャンバス	佐藤克也氏寄贈
サー・アルフレッド・イースト	九月の陽光		油彩・キャンバス	
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815 頃	油彩・キャンバス	
マイルズ・バークット・フォスターほか	(画)、ダルジール兄弟ほか (刻) ウィリアム・ワーズワース『詩集』	1859 刊	木口木版／本	
G.J.ピンウィルほか (画)、ダルジール兄弟 (刻)	『路傍の花々』(R.ブキャナン編)	1867 刊	木口木版／本	
サー・エドワード・コーリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	

## 展示室2 いきものへの眼差し



原 撫松  
「蝸牛とトンボ」

動物や昆虫などのいきものたちは、古くからさまざまなかたちで美術作品のなかに登場しています。まるで図鑑のようにリアルに描写されたり、姿かたち、習性などが誇張されたり、あるいは何か象徴的な意味が込められている場合もあります。今回の展示では、コレクションの中から「いきもの」を主題にした作品を展示します。絵画や版画、彫刻など、技法や素材はちがっても、そこにはいきものを巡る豊かな世界が息づいています。作り手たちは、いきものたちにどんな眼差しを注いでいるのでしょうか。多彩ないきものワールドをおたのしみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
須田瑛中	鷹の図		紙本着色（二曲一隻屏風）
梶田半古	蝶	明治 40 年代	絹本着色（二曲一隻屏風）
チャールズ・ワグマン	西洋紳士スケッチの図	1870 年代	油彩・キャンバス
原 撫松	奈良の夕	1911（明治 44）	油彩・キャンバス
原 撫松	蝸牛とトンボ	1893（明治 26）	水彩・紙
村井聰泉、他	動物図	1896～1900（明治 29～33）	リトグラフ・紙／ポートフォリオ
山本芳翠	菊と蕪と蝸牛		油彩・キャンバス
青木 繁	犬	1902（明治 35）	鉛筆・紙
吉田 博	檜原下川のつなさんの馬	1908（明治 41）	水彩・紙
満谷国四郎	冬	1922（大正 11）	油彩・キャンバス
中山 巍	花鳥 B	1934（昭和 9）	油彩・キャンバス
横井弘三	子供		油彩・キャンバス
山中春雄	牛		油彩・キャンバス
北川民次	丈のびするバツタ	1971（昭和 46）	エッチング・紙
安井曾太郎	少女と大このはづく	1939（昭和 14）	リトグラフ・紙
安藤重春	犬声		紙本着色
安藤重春	咬	1987（昭和 62）頃	紙本着色
安藤重春	虫	1987（昭和 62）頃	紙本着色
佐藤静司	獺	1936（昭和 11）	木彫
柳沼曹雲	陽		石膏

武田光司コレクション寄贈

## 展示室3 現代美術を楽しむ



瑛丸「構図」

現代美術というと、「わからない」「とっつきにくい」というイメージをお持ちの方もいらっしゃると思います。私たちは、芸術作品の中に「何が描かれているか」「何でこのようなものが描かれたのか」「この絵にはどんな意味が込められているか」といった様々な問いの答えを求めたりしますが、現代美術は必ずしもそれにこたえるわけではないどころか、私たちの想像をはるかに超えた世界を眼の前に展開させるからでしょう。むしろ、既成の概念にとらわれない自由な感覚や精神を取り戻す試みとも言えそうです。

色、形、線…絵画を構成するシンプルな要素の面白さそのものに目を向け、楽しんでいただくと、思いがけない発見があるかもしれません。さあ頭をからっぽにして絵の前に立ってみませんか。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ（青）	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙
クリスト	日本とアメリカ合衆国による共同計画アンブレラ（黄）	1987	鉛筆、木炭、クレヨン、パステル、地図、エナメル塗料・紙
ヴィクター・パスモア	ワインレッド（version1）	1964	油彩・キャンバス、板
アラン・グリーン	赤に向かう白のアンゲル	1992	エッチング・紙
アラン・グリーン	ドローイング 336	1995	ミクストメディア・紙
アラン・グリーン	ドローイング 339	1995	ミクストメディア・紙
勝呂 忠	浮遊する 3 本の線	1989（平成元）	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
吉原治良	円・白	1969 (昭和 44)	シルクスクリーン・紙	
菅井 汲	ヴァリアシオン	1980 (昭和 55) 頃	シルクスクリーン・紙	
鎌田正蔵	マイパターン	1970 (昭和 45)	アクリル・キャンバス	
村井正誠	いそぐ人	1956 (昭和 31)	油彩・キャンバス	
瑛九	拡声器	1957 (昭和 32)	リトグラフ・紙	
瑛九	構図	1957 (昭和 32)	吹付・合板	武田光司コレクション寄贈
土橋醇	イル・ド・フランス	1956 (昭和 31)	油彩・キャンバス	
難波田龍起	建物の構成	1954 (昭和 29)	油彩・キャンバス	
堀内正和	顔	1955 (昭和 30)	鉄、セメント	

## 展示室 4 明治の新聞付録



北澤楽天「やまとひめとブリタニヤ」

明治時代、印刷技術の発達によりいくつもの新聞社が生まれました。そして明治 10 年代後半以降、各社は付録をつけることで読者の購買意欲をあおり始めます。中でも一般の人々にはまだなじみがなかった西洋画の付録は、その写実性や珍しさで多くの読者に喜ばれました。

それらの原画を描いた西洋画家たちの中には、岡村政子という、当時としては珍しい女流画家もいました。岡村は、信陽堂という印刷所で原画を描いていましたが、その信陽堂は、特に福沢諭吉の『時事新報』の付録印刷で知られていました。今回は、当館が所蔵する明治の新聞付録とその信陽堂の石版画とをご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
合田 清	独逸皇帝フレデリック三世之肖像	1888 (明治 21)	木口木版・紙	(『横浜毎日新聞』明治 21 年 6 月 22 日付録)
山本芳翠	磐梯山噴火真図	1888 (明治 21)	木口木版・紙	(『東京朝日新聞』明治 21 年 8 月 1 日付録)
生巧館	元旦譜	1890 (明治 23)	石版・紙	(『横浜毎日新聞』明治 23 年 1 月 1 日付録)
原田直次郎	祝帝国議会開会開天巖戸之図	1890 (明治 23)	石版・紙	(『国民新聞』明治 23 年 11 月の付録)
原田直次郎	恭賀新年 大江山鬼狩道行之図	1891 (明治 24)	石版・紙	(『国民新聞』明治 24 年 1 月の付録)
岡村政子 (推定)	枝を持つ娘	1891 (明治 24)	石版・紙	(『東洋新報』明治 24 年 4 月 9 日付録)
作者不詳	露国皇帝アレクサンドル三世陛下他	1891 (明治 24)	石版・紙	(『都新聞』明治 24 年 5 月 10 日付録)
岡村政子 (推定)	露国之帝室	1891 (明治 24)	石版・紙	(『時事新報』明治 24 年 5 月 16 日付録)
岡村政子 (推定)	板垣伯之肖像	1891 (明治 24)	石版・紙	(『時事新報』明治 24 年 6 月 8 日付録)
円山応挙	龍の図	1892 (明治 25)	木口木版・紙	(『東京朝日新聞』明治 25 年 1 月 3 日付録)
波々伯部繁	芸妓競	1893 (明治 26)	石版・紙	(『改新新聞』明治 26 年 8 月 1 日付録)
作者不詳	両陛下肖像	1894 (明治 27)	石版・紙	(『自由新聞』明治 27 年 3 月 9 日付録)
岡村政子 (推定)	愛犬と少女	1898 (明治 31)	石版・紙	(『時事新報』明治 31 年 1 月 1 日付録)
作者不詳	虎状龍騰図	1899 (明治 32)	木口木版・紙	(『日本』明治 32 年 11 月 3 日付録)
北澤楽天	やまとひめとブリタニヤ	1902 (明治 35)	石版・紙	(『時事新報』明治 35 年 6 月 26 日付録)
和田英作	こだま	1904 (明治 37)	石版・紙	(『時事新報』明治 37 年 1 月 1 日付録)
鹿子木孟郎	馬上の陛下	1905 (明治 38)	石版・紙	(『日出新聞』明治 38 年 1 月 1 日付録)
岡田三郎助	ゆびわ	1908 (明治 41)	石版・紙	(『大阪時事新報』明治 41 年 1 月 1 日付録)
和田英作	昭憲皇太后	1911 (明治 44)	石版・紙	(『大阪朝日新聞』明治 44 年 1 月 1 日付録)
岡村政子	親愛ノ姉幼児喜ビノ図	1888 (明治 21)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	きよひめ	1888 (明治 21)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	牛若丸	1889 (明治 22)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	梅若丸	1889 (明治 22)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	みなつる姫	1889 (明治 22)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	仙女伏姫幽窟において読経の図	1889 (明治 22)	石版、手彩色・紙	
岡村政子	三女の友愛	1889 (明治 22)	石版・紙	
岡村政子	ワシントン	1890 (明治 23)	石版・紙	
岡村政子	忠臣義士	1891 (明治 24)	石版・紙	

## 展示室4 ガラスの美



佐藤潤四郎「オブジェ・羊車」

涼しげで透明感のあるガラスは、夏の器として親しまれています。

ガラスは、透明という特性を生かして、その中に気泡や雲母などの素材を封じ込めることができます。さらに、ガラスの背面に文様を彫りこむことによって、正面から透かして見えるその形は、立体感のある浮き彫りの効果を生んでいます。また、表面に施す加工技術の違いによって、温かみのあるしっとりとした質感をもたせたり、あるいはするどくキラキラと輝かせることができる、パリエーション豊かな素材だといえるでしょう。

今回は、ガラスのもつさまざまな表現技法から生まれる、素材の美しさをご紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・ガラス)		ガラス
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	宙吹、カレット封入
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972(昭和47)頃	宙吹
佐藤潤四郎	魚(オレンジ)	1973-76(昭和48-51)頃	宙吹、カレット封入
佐藤潤四郎	魚(ブルー)	1973-76(昭和48-51)頃	宙吹、カレット封入
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹
佐藤潤四郎	花器・穴があってちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹、カット
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹、サンドブラスト
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹、エッチング
佐藤潤四郎	花器		宙吹、雲母封入
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・ガラス)		ガラス
クリストファー・ドレッサー	花瓶(緑色クルーザ・ガラス)		ガラス
佐藤潤四郎	花器		宙吹
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹、他
佐藤潤四郎	ウィスキーボトル『インペリアル』		機械生産(サントリー株式会社提供)
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴェール・プランツ
クリストファー・ドレッサー	花瓶(赤色クルーザ・ガラス)		ガラス
佐藤潤四郎	ルーマー杯(グリーン)		宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	瓶		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	竹に雀文ワイングラス		宙吹・グラヴェール・プランツ
佐藤潤四郎	ガラスの神様文瓶		宙吹・グラヴェール・プランツ
佐藤潤四郎	ワイングラス		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹、他
佐藤潤四郎	オブジェ・これ以上芽の出ない世界	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹・プランツ
佐藤潤四郎	オブジェ・手	1984(昭和59)頃	サンドブラスト
佐藤潤四郎	灰皿		型押し
佐藤潤四郎	花器・灯もつけて		鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	花器		宙吹・プランツ・雲母封入

## ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階展示ロビー			
アントニー・ゴームリー	量子雲X X III	2000	ステンレス、スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域X III	2000	ステンレス、スチール棒
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント
●1階サブエントランス			
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
●2階展示ロビー			
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2		陶器
佐藤潤四郎	石で仏足跡		石
柳原義達	黒人の女	1956(昭和31)	ブロンズ
三坂耿一郎	まとう	1967(昭和42)	ブロンズ
佐藤静司	女の首	1971(昭和46)	木彫
●屋外			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ

※作品は都合により一部展示替えを行うことがあります。